

目 次

文化経済学会<日本>2016年度大阪大会

《凡例》

各発表の討論者については、討論者氏名末尾の上付き数字と発表タイトル末尾の上付き数字を参照してください。

表示例)

①-A 文化価値と文化財

●座長：阪本 崇 ●討論者：清水 裕之^①

タイトル	発表者
文化財まちづくりにおける種持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくりに関する研究 ^①	藤原 憲洋

分 科 会 ①

① -A 文化施設

●座長：本杉 省三 ●討論者：宮崎 刀史紀^①

タイトル	発表者	頁
劇場・音楽堂の管理運営計画の検討過程における住民参加ー埼玉県富士見市民文化会館までを対象にー ^①	堀本 暁洋	12
劇場は地域社会に何をもたらすのかー地域劇場のサイレント・パトロン形成に関する考察 ^①	五島 明子	14

① -B クラシック音楽への新しいアプローチ

●座長：藤野 一夫 ●討論者：牧 和生^①／小林 真理^②

タイトル	発表者	頁
クラシック音楽には近視眼的思考を緩和する効果があるか？ー経済実験と集計データによる音楽の嗜好と時間選好率およびリスク許容度との相関分析 ^①	保原 伸弘	18
公益財団法人大田区文化振興協会の「クラシックモニター制度」の取り組みについて ^②	宮地 宏征	20
鑑賞頻度を楽団間で比較してよいか：首都圏在住者への定量分析 ^②	涌田 龍治	22

① -C スポーツ・メディア・インターネット

●座長：有馬 昌宏 ●討論者：八木 匡¹／増渕 敏之²

タイトル	発表者	頁
Why Should She Play "Narikiri"? : Cooperative Creation in Virtual Communities and the Role of Social Capital (英語発表) ¹	梅本 克	26
スポーツ放送をめぐる政策分析～NHK（日本放送協会）を事例に～ ²	小林 豊／ 横山 勝彦	27
「協働」型社会を構築するスポーツ組織－総合型地域スポーツクラブを事例に－ ²	米村 真悟／ 横山 勝彦	29

① -D まちづくり・地域再生 ●座長：伊藤 裕夫 ●討論者：清水 裕之¹／伊藤 裕夫²

タイトル	発表者	頁
天草における文化資源としての下浦石工を活かした地域再生への挑戦的試行～天草・下浦フィールドワークが炙り出す地域再生へのシナリオ創出と実践～ ¹	藤原 恵洋	32
陶磁器産地波佐見のまちづくり ¹	古河 幹夫	34
ジェントリフィケーションの文脈におけるプレイヤーの変化 ～2000年代後半以降の札幌の事例から ²	加藤 康子	36

分科会 ②

② -A 観光・文化遺産 ●座長：佐々木 亨 ●討論者：澤村 明¹

タイトル	発表者	頁
全国の本山寺院における伽藍・森林の管理の現状と意向 ¹	峰尾 恵人	40
「はんなり」世界の破壊－京都祇園甲部の観光問題を中心に－ ¹	中原 逸郎	42

② -B 文化支援 ●座長：小林 真理 ●討論者：綿江 彰禪¹／太下 義之²

タイトル	発表者	頁
非営利文化芸術団体とソーシャル・ファイナンス－資金調達手段としてのソーシャル・インパクト・ボンド導入可能性の検討－ ¹	佐藤 敦子／ 森 利博	46
沖縄版アーツカウンシル事業の取り組みと評価～わが国における地域アーツカウンシルの課題～ ²	杉浦 幹男	48
変化する文化支援の論理－クリエイティブ産業の税制インセンティブを中心に－ ²	後藤 和子	50

②-C 固有価値と文化資本

●座長：佐々木 雅幸 ●討論者：後藤 和子¹／藤野 一夫²／伊藤 裕夫³

タイトル	発表者	頁
地域創造と歴史的・文化的資源の活用—市民、専門的人材、自治体の協働と文化資本の持続的蓄積に向けて ¹	本田 洋一	54
固有価値論から見る災害の記憶化とレジリエンス ²	橋高 影斗	56
日本経済学における文化資本概念の成立—経済資本概念との対比を中心として ³	池上 惇	58

②-D 創造都市

●座長：萩原 雅也 ●討論者：野田 邦弘¹／川井田 祥子²

タイトル	発表者	頁
創造の場における場所性の構築 ¹	金 泰勲	62
芸術分野における「社会（的）包摂」に関する状況整理とその再検討 ²	長津 結一郎	63
欧州文化首都と東アジア文化都市～東アジア文化都市の果たすべき役割とは何か ²	野田 邦弘	65

分科会 ③

③-A 文化統計・計量分析

●座長：勝浦 正樹 ●討論者：井口 貢¹／周防 節雄²／佐々木 亨³

タイトル	発表者	頁
観光における地域統計の新たなアプローチ ¹	山本 史門	68
社会生活基本調査を用いた男女別文化需要のコーホート分析 ²	新谷 正彦／ 勝浦 正樹	70
How Has Limited Government Changed the Management of the Japanese Prefectural Museums Since 2006? ³	谷口 みゆき	72
学生の文化・芸術に対する意識の現状と変化 ³	有馬 昌宏	74

③-B 文化政策

●座長：河島 伸子 ●討論者：牧 和生¹／田中 鮎夢²／阪本 崇³

タイトル	発表者	頁
芸術家・クリエイターの労働市場と労働政策・社会保障政策 ¹	稲熊 太郎	78
文化活動家たちの地域文化政策における懸案認識に関する基礎的な研究：Q方法論を用いた考察 ²	柳 永珍	80
陶芸作家のキャリア形成における芸術教育と文化政策との相互性—持続可能性を担う地域固有の創造環境とグローバル化— ³	前田 厚子	82

③-C アートプロジェクト

●座長：友岡 邦之 ●討論者：藤原 恵洋¹／友岡 邦之²

タイトル	発表者	頁
アートプロジェクトにおけるボランティアの役割 ¹	三宅 美緒	86
地域活性化事業におけるアート実践の諸課題について 大地の芸術祭 2015 十日町 中心市街地アートプロジェクトを事例に ¹	山口 祥平	88
芸術家と地域社会の共創に関する研究 ―ソーシャル・ランドスケープ基金の 活動から― ²	谷口 文保	90
旧産炭地におけるアートプロジェクトの分析と評価に関する研究 ²	國盛 麻衣佳	92

③-D アジアにおける文化政策と文化交流

●座長：川崎 賢一 ●討論者：後藤 和子¹／川崎 賢一²

タイトル	発表者	頁
日本のキャラブランド・パワーの考察―日本における中国人留学生を例として ¹	簡 逸威	94
ラオスの経済発展と日本の文化と技術移転～ラオスと大川の家具産業を中心 に～ ¹	松下 愛	96
シンガポールのコミュニティはアートによって開かれるのか―芸術家へのイ ンタビュー調査を基に― ²	南田 明美	98